

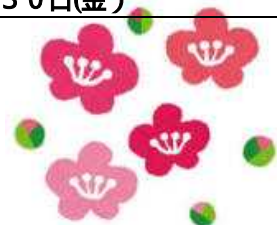
沖縄カトリック中学高等学校  
学校通信

# 野ばら 2月号

発行  
沖縄カトリック中学高等学校  
〒901-2215  
宜野湾市真栄原3-16-1  
TEL 098-897-3300  
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>  
2015年1月30日(金)



今日という日のうちに、励まし合え



校長 夏見隆晴

今回は『聖書』の「ヘブライ人への手紙」の一節を、タイトルを選んでみました。日ごろ聖書を読みながら考えさせられることは、あまりにも当たり前のことなのですが、わたしたちは一人で生きているのではないということが示唆されていることです。わたしたちのうちのだれか一人でも、惑わされてかたくなになり離れてしまう者がないように、今日という日のうちに、励まし合いなさい、というのがここでは教えられているのです。

「共生」というのは、種々の宗教で説かれているのですが、いざ実践ということになると難しいというのが正直なところ。わたし自身は仏教でいう「共生」がいかなるものであるかはよく知らないのですが、「わたしたち」が日々を生きているという事実は、間違いのないことです。わたしたちはみなで共に生かされているのです。けれどももすぐ傍で日々を生きていた人達が、何かの悩みで離れていくということは、だれもがしばしば経験しています。

わたしたち人間は、共に生きている存在であるということに、もっと敏感であってよいのではないのでしょうか。もっと言えば、人間が生きているということはだれもが同じ目的に向かって、助け合いながら日々を過ごすということなのです。それゆえ、わたしたちが隣人について必要な配慮をするということは、お節介などではないのです。今日の日本、特に都市の住人は他者との接触を意識的に避けているかに思えてなりません。

それに時たま、「自分には人さまのためになれるような才能はありません」と謙遜した物言いをする人がいます。この態度も間違っています。人は誰でも神様から大きなそして素晴らしい才能を授かっています。いわゆる「タレント」(才能の意味)です。この言葉の由来も聖書によるもので、キリストの時代のギリシャの貨幣単位で高額な計算にだけ使うものでした。タラントを主人から預けられた人が、主人の厳しさを恐れて使わずに隠しておいたというので罰せられたというたとえ話です。もちろん人の才能はそれぞれに違ってきます。むしろ違っているからこそ、人はそれぞれに共に生きる人のために貢献できるようになっていると考えればよいでしょう。

わたしたちは幼少時よりどれだけ多くの人たちから励ましを受けて生きてきたかを、考えてみなければなりません。特に父や母などの場合、その叱責でさえも成人して振り返ってみると、あれは励ましの言葉であったということが解ります。特に神から離れて、人間らしさを失っていく子供たちの姿を見ると、時を置くことなく「今日という日のうちに、励まし合い」、人間としてのあるべき姿へと共に歩むことを優先しなければ、「互いに愛し合いなさい」という人間に課された第一の掟を優先しているとは言えないのです。神と人との仕えることを人生の中心とすること、そのような人は守られて生きているのです。

人への奉仕

愛の実践



Make A Wish of Japan

渡名喜 幸美

私が「Make A Wish of Japan 難病と戦う子ども達を支援するボランティア活動」のお手伝いを始めたのは、今から17年前のことです。それは、当時、英語科の教員をしていた妹から、琉大病院の院内学級に在籍している男の子がディズニーランドに行くので、ウェルカムボードの製作を手伝ってほしいという依頼から始まりました。

ウェルカムボードはディズニーランドに隣接するシェラトンホテルの部屋に装飾され、男の子がとても喜んでくれたという「Thanks Card」を読んだ時には胸が熱くなったものです。しばらくして「アンビリバボー」の番組で、あの時の男の子(ウイッシュチャイルド)が、ウェルカムボードの前で、満面の笑みで家族と一緒に写真が紹介されましたが、夢を叶えてもらい、心が弾む経験をしたウイッシュチャイルドは、次の夢に向けて「希望」を持つということがよく分かりました。

そのお手伝いをきっかけに沖縄支部から、県外から訪れるウイッシュチャイルドのウェルカムボードの作成依頼が頻繁に入るようになりました。急な依頼の際は、部活動の合間に取りかかることがあり、作業を見ていた生徒たちから「私たちもお手伝いをしたい。」という声が上がりました。夏休みには、空港の到着口で生徒達がウェルカムボードを手に持ち、ウイッシュチャイルドのお迎えをしたこともありました。ウイッシュチャイルドの目線に合わせてしゃがみ、やさしく言葉を掛ける様子はとても微笑ましい光景でした。初めて会う中学生に、はにかみながら挨拶するウイッシュチャイルドの愛らしい笑顔は、今でも鮮明な記憶として残っています。ご家族からは感謝のお言葉を、沖縄支部の方からは「中学生のお迎えで ちゃん、とても嬉しそうね。」と誉めて頂いたものです。

心からさりげなく、気負うことなくウイッシュチャイルドをおもてなしする生徒たちの様子から、わたし自身も気づかせてもらうことが、多々ありました。あの時の生徒たちの姿は、学園の教育モットーである「人への奉仕(愛の実践)」そのものでした。

高校の1期生が中学1年生で始めた Make A Wish も、今では学校全体で取り組む募金活動として、有志の生徒が夏の暑い日差しの中で懸命に頑張ってくれます。額に汗し、声をからしながら、道行く人に募金への協力をお願いする様子は、普段の学校生活では見られないとても頼もしい表情をしています。上級生が懸命に活動する姿を下級生が学び、誰かのために奉仕する活動が継続できるのは本校ならではの自負しています。

17年前、わたし個人でウェルカムボードの製作から始まったお手伝いを、生徒たちが賛同し、学校のボランティア活動になった Make A Wish!

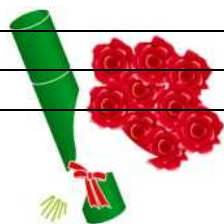
生徒たちの「私たちもお手伝いをしたい。」という温かい思いが、大きな支援活動の輪になったことに感謝しつつ、これからも生徒たちの笑顔と共に活動していきたいと思えます。



# 2月の予定



日・曜日	行事計画
7日(土)	中学後期入試
14日(土)	C早期対策高校2年 河合全統記 高校1年 SS中学3年 学力推移 中学1,2年
16日(月)	第5回定期試験1週間前のため全ての活動停止
18日(水)	完全下校16:30
23日(月)	第5回定期試験 ~ 26日(木)
27日(金)	卒業感謝ミサ 卒業式予行 総合
28日(土)	卒業式



# 生徒の頑張り！

## 平成26年度沖縄県優良児童生徒表彰者

長浜さんは平成26年3月、「第34回ホームソーイング小・中・高校作品コンクール表彰式」において最優秀賞（経済産業大臣賞）を受賞しました。その受賞を受けて教育庁に推薦し、今回の表彰となりました。表彰式は2月9日（月）沖縄県庁にて行われます。

高校1年A組 長浜 有希 さん



## 第53回全沖縄児童生徒書き初め展

中学2年A組 外間 栄美 金賞

中学2年B組 渡久地 礼李 銀賞

中学2年B組 外間 光 銅賞

中学2年B組 牧 真子 銅賞

